

平成18年度第6回理事会議事録

日時：平成18年12月23日(土)
14:00～17:00
場所：キャンパスイノベーション
センタ-(田町)多目的室4
出席者：杉山, 青木(弘), 蓮見,
五十嵐, 植村, 大島, 大平,
岡崎, 工藤(卓), 工藤(芳),
久保, 車, 黒川, 佐藤, 白石,
田浦, 田村, 永井, 生田目,
松岡, 三橋, 両角, 山中,
國澤, 阿部, 八馬, 金
委任状出席：石川, 面矢, 清水, 國本,
酒井, 須永, 中嶋, 西川,
原田, 宮崎, 森田, 河原林
欠席者：青木(史), 降旗, 細谷

1. 会長挨拶

杉山会長より挨拶がなされた。

2. 平成18年度第5回理事会議事録の承認

(八馬本部事務局幹事)

八馬本部事務局員より平成18年度第5回の議事録案が提示され、一部修正を加えることで承認された

【審議事項】

3. 平成19年度春季大会について

(河原林春季大会実行委員長
代理國澤本部事務局長)

配布資料に基づき、平成19年度春季大会の概要について、河原林春季大会実行委員長の代理として國澤事務局長から説明がなされた。春季大会担当理事を大平理事が担当すること、「研究部会発表枠について」の記述は削除すること、申し込み日程には「(予定)」を入れることで承認された。また、前回大会同様、研究部会発表枠を設け、内容については大会実行委員会、研究推進委員会、概要集編集委員会で詳細を協議することが確認された。さらに、オーガナイズドセッションについては、会場、スケ

ジュール、研究部会発表枠などを勘案しながら3～4セッションとし、学会ホームページにてテーマ公募を実施すること、次回理事会にて内容案を提示することが示され、承認された。

4. 第54回春季研究発表大会に向けた発表形式等について

(岡崎概要集編集委員会委員長)

配布資料に基づき、岡崎概要集編集委員会委員長より第54回春季研究発表大会に向け発表形式等の規定案と内容の事前公開に関する説明がなされた。発表形式については現行のままとするが、一層の発表の質の向上のために、エントリー時の注意事項を充実させることや、海外からの発表については、発表者の指導教官に対しエントリーから発表までの一連について十分に指導していただくよう概要集編集委員会と研究推進委員会からお願いすることとなった。また、グッドプレゼンテーション賞については、次回も大会実行委員会の主催により引き続き行うこと、研究部会発表枠については作業フローおよびスケジュールが確認された。

概要集の事前公開について、J-Stageにおいて1週間から10日程度前に公開することで承認された。

5. iASDR 2007について (山中理事)

配布資料に基づき、山中理事よりリスボンで行われた第2回iASDR理事会の報告がなされた。iASDRの運営費として、本学会正会員会費収入の2%を支出すること、香港で行われる第2回iASDR大会における発表論文の査読者として理事と論文審査委員などが協力することが承認された。また、iASDRにThe Design Societyが加入意向を示していることについては、本学会として歓迎する旨をiASDRに伝えることが承認された。さらに、iASDRの活動をより強化する

ための体制づくりについて、研究推進委員会で協議することとなった。

6. Designシンポジウム2008の計画について (松岡理事)

Designシンポジウム2008の計画について松岡理事より説明がなされた。デザイン学会が幹事学会として開催することが承認された。東京大学において秋季企画大会と連動して開催する案については、両者の位置付けを明確にすることを前提とし、秋季大会の企画を企画委員会、研究推進委員会、本部事務局で検討することとなった。

7. 支部活動の共有について(第5支部平成18年度研究発表会をもとに)

(車第5支部支部長)

配布資料に基づき、第5支部平成18年度研究発表会について、車第5支部支部長より報告された。研究発表概要集の学会員への有償配布については、支部委員会で第5支部の案をケースにして、共通のルールづくりをしていくこととなった。

8. 会員の移動について

(八馬本部事務局幹事)

本部事務局に提出された書類を回覧、審査した結果、入会[正会員15名、年間購読1件]、退会[正会員6名]が承認された。

9. その他 特集号のデザインについて (工藤(卓)学会誌編集出版委員長)

工藤(卓)学会誌編集出版委員長より、第15巻から特集号のリニューアルを図りたい意向が示された。討議の結果、学会誌編集出版委員会で改善案を慎重に検討し、あらためて素案をもとに審議することとなった。

【報告事項】

10. 教員公募の案内の取り扱いについて (國澤本部事務局長)

配布資料に基づき、教員公募案内の取り扱いについて國澤本部事務局長より報告された。今後、即時性が求められるような情報については、会員間の情報格差をなくすべく、HPやメーリングリストなどで素早く周知することとなった。

11. 横幹連合について(山中担当理事)
配布資料に基づき、横幹連合からのアカデミックロードマップ作成について山中担当理事より説明がなされ、必要に応じて研究推進委員会と連携して進めることが報告された。

12. 関東支部活動状況報告(松岡第2支部支部長)
配布資料に基づき、松岡第2支部支部長より第2支部における過去の活動報告と2月に開催する見学会について報告された。

13. その他

A 芸術学関連学会連合シンポジウムテーマについて(黒川副会長)
黒川副会長より、芸術学関連学会連合シンポジウムテーマについて、映像学会からの提案が採択されたことが報告された。

B 平成16年度秋季大会プロシーディングの書籍化について
(松岡第2支部支部長)
松岡第2支部支部長より平成16年度に慶応大学で開催した秋季大会のプロシーディングの書籍化を進めていることが報告された。

C 学会ホームページについて
(生田目広報委員長)
本日午前中に開催した学会ホームページに関する講習会について報告され、本日より権限者は直接アップロードできること、ニュース投稿マニュアルに基づいて運用していることが説明された。

D 作品集の応募状況について
(佐藤作品審査・作品集編集委員)
佐藤作品審査・作品集編集委員より、作品集についての現在の応募状況および審査状況について報告された。

14. 次回理事会(運営)日程について
平成18年1月中旬
詳細日程および場所は未定

記録: 八馬

平成18年度第7回理事会議事録

日時: 平成19年1月27日(土)
14:00 ~ 16:00

場所: 拓殖大学文京キャンパス
大学院第2会議室

出席者: 杉山, 青木(弘), 蓮見, 五十嵐, 中嶋, 生田目, 両角, 河原林, 國澤, 阿部, 金
委任状出席: 石川, 大平, 工藤(卓), 森田, 八馬

1. 会長挨拶

杉山会長より挨拶がなされた。

2. 平成18年度第6回理事会議事録の承認

(國澤本部事務局長)

國澤本部事務局長より平成18年度第6回の議事録案が提示され、承認された。

【審議事項】

3. 平成19年度春季大会について

(河原林春季大会実行委員長)

河原林春季大会実行委員長より、配布資料に基づき、平成19年度春季研究発表大会の準備状況について説明がなされた。静岡文化芸術大学内での使用会場、各スケジュールについて説明があった。

研究発表については、口頭発表およびポスター発表とし、口頭発表は研究部会が統括するテーマセッション(現在、創造性・教育・情報デザイン・家具木工の4部会が申込済み)と一般研究発表をおく。概要集については、岡崎, 工藤(芳)両担当理事を中心に準備中である。また、これらの発表に対し、グッドプレゼンテーション賞を設けて授与するが、実施方法については第53回春季研究発表大会における方法を踏襲することが示され、了承された。学生プロポジションの実施も検討中であり、担当他については次回理事会までに、実行委員長が案を作成して

提示することとなった。また、作品集掲載作品の展示も検討したい旨が示され、了承された。オーガナイズドセッションは4セッションの予定で、セッションの内容等については研究推進委員会の永井担当理事を中心に準備中であるとの説明がなされた。基調講演の講演者には会場校である静岡文化芸術大学新学長、特別講演にはスズキ株式会社デザイン部長吉村氏に、いずれも依頼中であること、エクスカーションは楽器博物館を予定していることの説明があり、了承された。

さらに、杉山会長より、以前から懸案事項のひとつとなっている映像等の動く画像を取り扱う研究に対する発表方法をテーマとしたオーガナイズドセッションを設けてはどうかという提案があった。これに対し、青木(弘)、両角、中嶋の3理事で検討し、次回理事会に提示することとなり、了承された。

4. 会員の移動について

(國澤本部事務局長)

本部事務局に提出された書類を回覧、審査した結果、入会[正会員7名(内外国人1名)、賛助会員1件]、退会[正会員10名(内外国人1名)、年間購読会員1名]が承認された。

5. その他

デザインソサエティのIASDRへの参加に対する承認について杉山会長より、現段階ではDRS、IASDR、台湾は賛成、韓国は検討中であるが、4組織中、3組織が賛成のため参加が認められると思われると説明があった。デザインソサエティの参加が確定した時点で、IASDR対応強化の視点から、研究推進委員会より特設理事等を推薦いただくことが確認された。

配布資料に基づき、2006年度春季大会会計報告がなされた。なお、一部の記載方法につき訂正すべきとの意見が出、事務局より連絡することとなった。

7. 横幹連合ロードマップ委員会報告について

(山中担当理事代理國澤本部事務局長)
配布資料に基づき、ロードマップ策定期限等が示された。

8. IASDR (国際デザイン学会連合) 情報について

(山中担当理事代理國澤本部事務局長)
2007年11月11日より15日までの予定で開催され、各スケジュールは日本デザイン学会HPに掲載中であるとの報告があった。

9. その他

杉山会長より、2006年度開催の理事会で配布した第1回から第7回までの議事録を各理事それぞれが見直し、未決の議題については検討・報告することを本部事務局より依頼するよう要請があった。

10. 次回理事会(拡大)日程について

日時：平成19年3月24日(土)
場所は未定

記録：阿部

【報告事項】

6. 春季大会会計報告

(永井春季大会実行委員
代理國澤本部事務局長)

第2支部活動報告（第2報）

第2支部長 松岡由幸

平成18年11月6日（月）、12月4日（月）、11日（月）、18日（月）、平成19年1月15日（月）の計5回にわたり、慶應義塾大学理工学部矢上キャンパスを会場として、日本デザイン学会第2支部の2006年度第2回活動：「最適デザイン法の理論と実践」が開催されました。

本活動におきましては、エンジニア・ジャパン アドバンスドテクノロジー推進室 室長、宮田悟志氏を講師としてお招きし、工学に基づくデザイン法としての「最適デザイン法」に関する講演を行っていただきました。その主な内容としては、「概念デザイン」・「基本デザイン」・「詳細デザイン」の各デザインプロセスにおける最適デザイン法の特徴比較、「シンプレックス法」をはじめとする最適デザイン法の具体的なアルゴリズム、「非線形問題」や「多目的問題」における最適デザイン法など、多岐に渡りました。また、各講演のさいごには演習も実施され、参加された約40名の方々は、最適デザイン法における基礎的知識の理解を深めることができました。

全5回におよび、最適デザイン法の大変分かりやすいご講演を行っていただきました宮田氏に、この場をかりまして厚く御礼申し上げます。



宮田悟志氏による講演の様子



会場の様子

第2支部活動報告（第3報）

第2支部長 松岡由幸

平成18年12月21日（木）、22日（金）の2日間にわたり、慶應義塾大学理工学部矢上キャンパスを会場として、日本デザイン学会第2支部の2006年度第3回活動：「Workshop on Design Framework」が開催されました。

本活動におきましては、はじめに、松岡が「デザインフレームワークとしての階層デザインモデル」という題目で講演を行い、デザイン理論&方法論とその応用、それらを包含するデザイン科学フレームワークとしての「階層デザインモデル」に関する説明を行いました。つぎに、講師としてお招きした Illinois Institute of Technology の Keiichi Sato 教授に、デザインフレームワークに関する講演を行っていただくとともに、デザインに関わる研究・教育者（ASME Japan、青山学院大、京都工芸繊維大、名古屋大、武蔵野美大）、企業関係者（エンジニアス・ジャパン、東芝テック、横浜ゴム、レノボ・ジャパン）、および学生（慶應大、東大、武蔵野美大）を含む約25名の方々と交えた活発なディスカッションが行われました。また、ワークショップ後の懇親会におきましては、慶應大の学生によるポスタープレゼンテーション（階層デザインモデルに基づく研究・作品）も行われ、参加いただいた多くの方々と交流を深めることができました。

ご講演をいただきました Sato 教授、およびディスカッションにおいて貴重なご意見をいただきました参加者の皆様に、この場をかりまして厚く御礼申し上げます。



Keiichi Sato 教授による講演の様子



懇親会・ポスターセッションの様子

第2支部活動報告（第4報）

第2支部長 松岡由幸

平成19年2月3日（土）、10日（土）、17日（土）の計3回に渡り、慶應義塾大学理工学部矢上キャンパスを会場として、日本デザイン学会第2支部の2006年度第4回活動：「21世紀デザイン教育の再考Ⅰーデジタルデザイン技法」が開催されました。

本活動におきましては、はじめに、松岡が「デジタルデザインへの期待」という題目で講演を行い、デザインの変遷や今後のデジタルデザインの展望について説明を行いました。つぎに、慶應義塾大学の氏家良樹氏に「デジタルデザイン研究の事例と今後の展開」という題目で講演いただき、マクロ形

状情報の定量化とデジタルデザインへの応用に関する説明を行っていただきました。さいごに、講師としてお迎えした日産自動車株式会社デザイン本部の岡野宏美氏に「プロダクトデザイン開発におけるデジタルの活用」という題目でご講演いただき、プロダクトデザインにおけるアナログとデジタルの融合に関する説明を行っていただきました。同講演会では、デザインに関わる研究・教育者（青山製図専門学校、東京工芸大）、企業関係者（銭高組、東芝、朋栄）、および学生（慶應大、拓殖大）を含む約30名の方々と交えた活発なディスカッションが行われました。また、講演会の後には、岡野宏美氏の指導により、慶應大の学生や拓殖大の学生を対象に、3日間に渡るデジタルデザイン技法の実習が行われ、基礎的知識の理解を深めることができました。

ご講演および実習におけるご指導を行っていただきました岡野氏、ディスカッションにて貴重なご意見を賜りました参加者の皆様に、この場をかりまして厚く御礼申し上げます。

第2支部活動報告（第5報）

第2支部長 松岡由幸

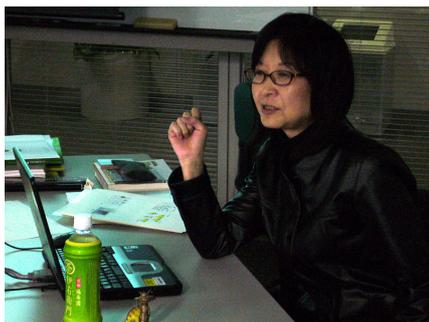
平成19年2月27日（火）、日産自動車株式会社デザイン本部を会場として、日本デザイン学会第2支部の2006年度第5回活動：「日産自動車デザインセンター見学会」が開催されました。

本見学会におきましては、はじめに、常務執行役員 チーフクリエイティブオフィサー 中村史郎氏より、日産自動車のデザイン史、デザイン戦略、新デザイン棟の特徴等についての説明が行われました。つぎに、プロジェクト・デザイン・ダイレクター 國本恒博氏、長野宏司氏、豊田泰治氏、3名の引率のもと、デザイン本部内の見学ツアーを行っていただきました。その中には、秘匿性が極めて高いため、一部にマスキングが施されたデザインルームも含まれておりました。さいごに、総務グループ 主担 我妻亨氏の司会進行のもと、中村氏、國本氏、長野氏、豊田氏、および複数のデザイナーの方々に参加いただいた質疑応答では、デザイナー

を目指す学生が在学時に学ぶべきこと、日産自動車のデザインにおける他社との相違点、デザインにおけるアナログ技術とデジタル技術の融合、デザインプロセスにおけるコンカレントエンジニアリング等をテーマとして活発なディスカッションが行われました。

本見学会は、全11大学（慶應大、静岡文化芸大、湘南工科大、拓殖大、多摩美大、千葉工大、筑波大、東海大、東京芸大、長岡造形大、武蔵工大）、56名の教員・学生らの参加による大規模なものとなり、参加者一同、実際のデザインの現場を見聞するという大変貴重な機会を得ることができました。また、見学会後には、教員とデザイン本部の方々による懇親会も開かれ、デザイン研究およびデザイン教育の側とデザイン実務の側での大変有意義な交流を図ることができました。

デザイン本部の高野修治氏、大塚功司氏をはじめ、多くの方々に貴重な時間を割いていただき、内容の充実した大変すばらしい見学会を準備いただきましたことに、この場をかりまして厚く御礼申し上げます。



岡野宏美氏による講演の様子



会場の様子



日産自動車デザインセンター見学会参加者らの集合写真

第2支部活動報告（第6報）

第2支部長 松岡由幸

平成19年3月3日（土）、4日（日）、10日（土）、11日（日）の計4回に渡り、慶應義塾大学理工学部矢上キャンパスを会場として、日本デザイン学会第2支部の2006年度第6回活動：「21世紀デザイン教育の再考Ⅱー表示法」が開催されました。

本活動におきましては、はじめに、松岡が「デジタルデザインと表示法の融合」という題目で講演を行い、デザインにおける表示法の位置づけやその教育に関する今後の展望について説明を行いました。つぎに、慶應義塾大学の氏家良樹氏に「デザイン表示法のデジタル化研究」という題目で講演いただき、多様なデザイン案を生み出す手法としての表示法と計算機による形状生成法の共通性に関する説明を行っていただきました。さいごに、講師としてお迎えした東芝デザインセンターの伊豆裕一氏に「プロダクトデザインにおける表示法の役割」という題目でご講演いただき、プロダクトデザインにおける表示法の位置づけや、その活用および習得において留意すべき点に関する説明を行っていただきました。同講演会では、デザインに関わる研究・教育者（山形大）、企業関係者（QLC、銭高組、東芝、日産、朋栄）、および学生（慶應大、拓殖大）を含む約25名の方々と交えた活発なディスカッションが行われました。また、講演会の後には、伊豆裕一氏の指導により、慶應大の学生を対象に、4日間に渡る表示法の実習が行われ、基礎的知識の理解を深めることができました。

ご講演および実習におけるご指導を行っていただきました伊豆氏、ディスカッションにて貴重なご意見を賜りました参加者の皆様に、この場をかりまして厚く御礼申し上げます。



伊豆裕一氏による講演の様子



表示法実習の様子

第2支部活動報告（第7報）

第2支部長 松岡由幸

平成19年3月13日（火）、14日（水）、15日（木）、16日（金）の計4回に渡り、慶應義塾大学理工学部矢上キャンパスを会場として、日本デザイン学会第2支部の2006年度第7回活動：「21世紀デザイン教育の再考Ⅲーコンポジション」が開催されました。

本活動におきましては、はじめに、松岡が「デザイン教育の過去・現在・未来」という題目で講演を行い、バウハウスに始まる近代デザイン教育の今後の展望について説明を行いました。つぎに、慶應義塾大学の氏家良樹氏に「コンポジションとマクロ形状情報」という題目で講演いただき、コンポジションをはじめとするマクロ形状情報の定量化に向けた工学的アプローチに関する説明を行っていただきました。そして、講師としてお迎えした武蔵野美術大学の小林昭世氏に「近代デザイン史とデザイン教育」および「かたち

の創成とデザイン教育」という題目でご講演いただき、デザイン教育の歴史や記号論に基づくデザインの事例に関する説明を行っていただきました。さいごに、同じく講師としてお迎えした山口大学の木下武志氏に「コンポジションとデザイン教育」という題目でご講演いただき、今後のコンポジション教育の課題とその実践に関する説明を行っていただきました。同講演会では、デザインに関わる研究・教育者（実践女子大、職業能力開発大）、企業関係者（田尾設計）、および学生（慶應大）を含む約20名の方々と交えた活発なディスカッションが行われました。また、講演会の後には、木下武志氏の指導により、慶應大の学生を対象に、3日間に渡るコンポジションの実習が行われ、基礎的知識の理解を深めることができました。

ご講演をいただきました小林氏、ご講演および実習のご指導をいただきました木下氏、ディスカッションにおいて貴重なご意見をいただきました参加者の皆様に、この場をかりまして厚く御礼申し上げます。



小林昭世氏による講演の様子



木下武志氏による講演の様子

募集案内

■ ヒューマンインターフェイス

■ シンポジウム 2007

■ 講演募集

開催日：2007年9月3日(月)～6日(木)

会場：工学院大学

新宿区西新宿 1-24-2

発表形式と内容

一般発表(発表15分+討論)

新しい研究成果の報告や提案など。
英語による発表も一般発表として受け付けます。

対話発表

実機や実演を取り込んだ対話形式による発表です。参加者の投票によるプレゼンテーション賞の表彰を予定しております。

企業展示

ヒューマンインタフェース関連の製品や商品の紹介を歓迎します。

講演申込締切：2007年5月31日(木)
オンラインでの発表申込みは5月上旬より開始予定です。学会HP(<http://www.his.gr.jp>)をご覧ください。申込書が必要な方は事務局までご連絡下さい。

問合せ先：ヒューマンインタフェース学会事務局

〒600-8815 京都市下京区中堂寺粟田町93番地 京都市サーチパーク6号館 304号

TEL：075-315-8475 / 075-326-1331

FAX：075-326-1332

E-mail：symp@his.gr.jp

URL：<http://www.his.gr.jp>

催し物

■ 青磁を極める

■ 岡部嶺男展

会期：平成19年3月6日(火)～5月20日(日)
月曜日休館(但し3月26日、4月2日
4月30日は開館)

開館時間：午前10時～午後5時

(入館は午後4時30分まで)

主催：東京国立近代美術館 / NHK / NHKプロモーション

企画協力：NHK 中部ブレイズ

会場：東京国立近代美術館工芸館

(千代田区北の丸公園1-1地下鉄東西線竹橋駅下車徒歩8分)

観覧料：一般800(700/600)円、大学生500(400/350)円、高校生300(250/200)円中学生以下・障害者と付添者原則1名は無料。

()内は前売 / 20名以上の団体料金。いずれも消費税込。

それぞれ入館の際、学生証、障害者手帳などをご提示ください。

■ 明日を創るカラーデザイン見本市

■ COLOR SESSION 2007

会期：2007年4月12日(木)～14日(土)
10:00～18:00(14日は16:30まで)

会場：東京ビックサイト 西3・4ホール
エグゼクティブアドバイザー：

水野誠一 IMA代表

主催：COLOR SESSION実行委員会

委員長 城一夫 共立女子短期大学教授
運営事務局：(株)美研インターナショナル
特別協力：財団法人日本ファッション協会
フジサンケイ ビジネスアイ

同時開催：「COLOR ASOLUTION」「COLOR DESIGN」
「テーマ展示」「各種セミナー」

省庁後援：経済産業省(申請予定)

後援：東京商工会議所、日本色彩学会、
産経新聞社、各国大使館(申請予定)

協賛：関連する団体

HP：<http://www.color-session.com/>

献本御礼

寄贈図書

- ・ デザイン哲学叢書 デザインの知，降旗英史監修，東北芸術工科大学デザイン哲学研究所編，角川学芸出版機関誌
- ・ KUMAGAI UPDATE Vol.60，株式会社熊谷組，2006
- ・ JAGDA Report NO.178，JAGDA，2006
- ・ 学著協ニュース No.13，有限責任中間法人学術著作権協会，2006
- ・ 第13回全国高等学校デザイン選手権大会レヴュー，東北芸術工科大学 / 全国高等学校デザイン選手権大会実行委員会，2006
- ・ JABEE NEWS 第5号，日本技術者教育認定機構，2007
- ・ 人07 発見 recruiting guide，武蔵野美術大学，2007
- ・ たまびnews No.44，Winter 2007，多摩美術大学
予稿集・論文集・報告書
- ・ 神戸芸術工科大学紀要 芸術工学2006，神戸芸術工科大学，2006

会員の移動

平成 18 年度第 6 回理事会承認

2006.12.23.

<新入会>

* 正会員 15 名

伊藤 俊樹	遠藤 潤一
大熊 敏之	大竹 康夫
金丸 直史	木村 信綱
神津 宏昭	小関 潤
佐藤 英明	高島 翠
野呂田 純一	峯元 長
宮田 悟志	山本 博一
吉田 美穂子	

* 年間購読会員 1 件

(株)真光書店

<退会>

* 正会員 6 名

井藤 孝一	春日 明夫
黒川 隆夫	佐藤 斉昭
志水 善一	宮田 緑

平成 18 年度第 7 回理事会承認

2007.01.27.

<新入会>

* 正会員 7 名 (内外国人 1 名)

岡田 衛	齋藤 美絵子
猿渡 学	土居 加奈子
星野 浩司	森田 麻祐子

Ruslanova Olga

<退会>

* 正会員 10 名 (内外国人 1 名)

阿部 敬人	小森 久栄
竹内 孝治	田中 奈美
橋富 博喜	前田 享宏
簗輪 要佑	室田 理子
山口 重之	李 錫賢

* 年間購読会員 1 件

陳 日陞

事務局から会費自動引き落としのお知らせ

2007 年(平成 19 年)度の会費は 5 月 7 日に引き落としとなります。

引き落とし額： 正会員年額 13,000 円

年間購読会員年額 25,000 円

賛助会員年額 1 口 10,000 円(3 口以上)

通帳には、銀行により[SMBS(JSSD カイヒ)、SMBC(シンパン)、(SMBC)自払]のいずれかで記載されております。会員各位にて、ご確認下さい。

なお、領収証の発行が必要な方は、事務局までご一報ください。領収証発行の登録手続きをいたします(登録は初回のみ。以後は必要ありません)。

引き落とし口座の変更をご希望の方は、本部事務局へご連絡ください。

本部事務局

自動引き落とし手続きのお願い

当学会では、会費の自動引き落としが義務付けられております。すでに、半数以上の会員の方にご利用いただいておりますが、まだ登録がお済でない会員の方は、至急登録手続きをされますよう、お願い申し上げます。また、口座引き落とし依頼書がお手元にない方は、本部事務局へご請求ください。

本部事務局

住所変更はお済ですか？

春は、住所不明で戻ってくる郵便物が増えます。住所変更は確実にお願いします(お知り合いの方で、該当する方がおられましたら、この旨をお伝えください)。

届出は文書にてお願いします。転居される方は、FAX または綴じ込みの「入会届け」に朱書きで「変更届」と書き添えて、事務局までご連絡下さい。HP にも様式が掲載されておりますのでご利用ください。退会等の届出も必ず文書にてお願いします。

本部事務局

ご確認ください！

平成 19 年 3 月 30 日に(株)ホクシン 名義で ¥13,000 をご送金くださいました方、下記あてに会員個人名義をお知らせください。

FAX.03-3301-9319 E-mail:jssd@mx10.ttcn.ne.jp

会費振込に際しては、「会員個人名」又は、会員番号を明記して下さい。企業名や大学名での振込では、どなたの会費なのか解りかねますので、ご協力の程宜しくお願い申し上げます。

本部事務局

日本デザイン学会 平成19年度総会の予告

日本デザイン学会 会員各位

平成19年度日本デザイン学会総会を、下記のように開催いたします。
各位におかれましては、ご出席くださいますよう、ご案内申し上げます。

記

日時：平成19年6月22日（金曜日）総会 10：30～11：30（受付開始9：00～）

会場：静岡文化芸術大学 講堂

キャンパス内地図：<http://www.suac.ac.jp/about/campusinfo/map/>

アクセス方法：<http://www.suac.ac.jp/access/>

式次第

1. 総会成立の確認ならびに開会宣言
2. 会長挨拶
3. 議長団選出
4. 議事

・平成18年度理事会・事業報告

論文審査・論文集編集委員会 作品審査・作品集編集委員会 学会誌編集・出版委員会
研究推進委員会 企画委員会（総合企画） 企画委員会（支部企画） 事業委員会（アクレディテーション）
事業委員会（継続教育・資格制度） 広報委員会 財務委員会 市販図書企画・編集委員会
学会各賞選考委員会担当 平成18年度春季研究発表大会担当 平成18年度秋季企画大会担当
IASDR担当 日本学術会議・日本工学会担当 第1支部 第2支部 第3支部 第4支部 第5支部
本部事務局

・平成18年度決算報告

・平成18年度会計監査報告

・平成18年度決算報告承認

・平成19年度事業計画

論文審査・論文集編集委員会 作品審査・作品集編集委員会 学会誌編集・出版委員会
研究推進委員会 企画委員会（総合企画） 企画委員会（支部企画） 事業委員会（アクレディテーション）
事業委員会（継続教育・資格制度） 広報委員会 財務委員会 市販図書企画・編集委員会
IASDR担当 日本学術会議・日本工学会担当 第1支部 第2支部 第3支部 第4支部 第5支部
本部事務局

・平成19年度予算案説明

・平成19年度予算案承認

5. 議長団退席

7. 名誉会員証贈呈

8. 閉会挨拶

お 願 い

総会を欠席される会員は、書面をもって議決権を行使することができます（会則第22条）。
ご欠席の場合は、出席する正会員を代理人として、必ず委任状をご提出ください。なお、正式のご案内は改めて葉書にて全会員にお知らせいたします。

日本デザイン学会第54回春季研究発表大会参加のご案内

大会実行委員会

1. 大会の概要

大会名称： 日本デザイン学会 第54回春季研究発表大会
テーマ： 「産・学・官とデザイン」
主催： 日本デザイン学会
共催： 静岡文化芸術大学
会期： 2007年6月22日（金曜日）から6月24日（日曜日）まで
会場： 静岡文化芸術大学 講堂、自由創造工房、総合演習室、中講義室
〒430-8533 浜松市中区中央二丁目1番1号
JR浜松駅下車 徒歩約15分

2. 大会参加のお申込みについて

別紙の「日本デザイン学会第54回春季研究発表大会 参加のお申込み」(学会ホームページでもダウンロードできます)にて大会実行委員会事務局宛にFAXまたは郵送にてお申込みください。事前参加の申込期限は、6月13日(水)です。

大会参加費：事前参加登録の場合（ ）内は当日参加の場合（概要集代を含みます）
事前参加登録の場合は事前配布の郵便振替払込書により振込み願います：6月13日締切
(事前払込みされた方は大会受付にて郵便振替払込書の払込票兼受領証を提示願います)
一般会員 6,000円 (7,000円)
一般非会員 7,000円 (8,000円)
学生会員 4,000円 (5,000円)
学生非会員 5,000円 (6,000円)

大会発表費：事前払込みの場合（ ）内は当日支払いの場合
事前払込みの場合は事前配布の郵便振替払込書により払込み願います：6月13日締切
(事前払込みされた方は大会受付で郵便振替払込書の払込票兼受領証を提示願います)
口頭研究発表 4,000円 (5,000円)
ポスター研究発表 4,000円 (5,000円)

懇親会費：事前参加登録の場合（ ）内は当日参加の場合
事前参加登録の場合は事前配布の郵便振替払込書により振込み願います：6月13日締切
(事前払込みされた方は大会受付で郵便振替払込書の払込表兼受領証を提示願います)
一般会員 7,000円 (8,000円)
一般非会員 8,000円 (9,000円)
学生会員 3,000円 (4,000円)
学生非会員 5,000円 (6,000円)

エクスカージョン参加費：エクスカージョン1、2は、事前参加登録のみとなります。
事前参加登録の場合は事前配布の郵便振替払込書により払込み願います：6月13日締切
(事前払込みされた方は大会受付で郵便振替払込書の払込票兼受領証を提示願います)

エクスカージョン1 楽器博物館、アクトシティ見学、夕食(うなぎ)

参加費：5,000円 最少催行人員 10名

エクスカージョン2 龍潭寺、浜名湖、夕食(フレンチ)

参加費：12,500円 最少催行人員 20名

エクスカージョン3 静岡文化芸術大学キャンパス見学

参加費：無料 最少催行人員 10名

* 事前参加登録人数が最少催行人員に満たない場合は、エクスカージョン1、2を中止する場合があります。

この情報は既に申し込み用の「別紙」と共に別便にてお手元に届いているものと同じです。申込用の別紙及び「郵便振替払込書」につきましてはお手元のものをご使用ください。

3. 大会のスケジュール

6月22日(金) 09:00 ~	受付開始 (大会参加者は、最初に受付にて登録が必要です)
10:30 ~ 11:30	総会
11:30 ~ 12:15	平成 18 年度学会各賞受賞者記念講演
12:15 ~ 12:55	昼食
13:00 ~ 13:30	開会式
13:30 ~ 14:30	基調講演 (静岡文化芸術大学 川勝平太学長) 「21C の国土のグランドデザイン 「美しい国づくり」に向けて」
14:40 ~ 15:30	特別講演 (スズキ株式会社 吉村等デザイン部部长)
16:00 ~ 18:00	エクスカージョン 1 楽器博物館、アクトシティ見学、夕食(うなぎ) エクスカージョン 2 龍潭寺、浜名湖、夕食(フレンチ) エクスカージョン 3 静岡文化芸術大学キャンパス見学
6月23日(土) 09:00 ~	受付開始 (23 日からの大会参加者は、最初に受付にて登録が必要です)
09:30 ~ 12:00	口頭研究発表 1
13:00 ~ 14:00	ポスター研究発表、作品集作品展示・プレゼンテーション、企業展示
14:00 ~ 16:00	オーガナイズド・セッション 1 「21 世紀、デザイン教育の再考」
16:15 ~ 18:15	口頭研究発表 2
19:00 ~ 21:00	懇親会 ホテルコンコルド浜松 海の間 (立食、ビュッフェ形式、フリードリンク)
6月24日(日) 09:00 ~	受付開始 (24 日からの大会参加者は、最初に受付にて登録が必要です)
09:30 ~ 12:00	口頭研究発表 3
13:00 ~ 14:30	ポスター研究発表、作品集作品展示・プレゼンテーション、企業展示
14:30 ~ 16:30	オーガナイズド・セッション 2 「東海地区デザイン事情」 オーガナイズド・セッション 3 「デザイン・インターンシップのゆくえ - 大企業におけるメリット・デメリット」
16:30 ~ 17:00	閉会式

4. ホテルのご予約について

ホテル予約は、(株) JTB 中部浜松支店にて受付けます。いずれのホテルも会場より徒歩 10 分圏です。予約は FAX にて受け付けます。別添の「日本デザイン学会第 54 回春季研究発表大会宿泊・弁当参加申込書」(学会ホームページでもダウンロードできます)に必要事項をご記入いただき、郵送または FAX にて 5 月 9 日(水)までに(株) JTB 中部浜松支店にお申し込みください。お支払いは、請求書が到着次第、6 月 13 日(水)までに請求書に記載されている指定口座へお振込みください。

- A - 1 オークラクトシティホテル浜松 (シングル 1 名利用 朝食・税・サ込み ¥12,700 円)
- B - 1 浜松名鉄ホテル (シングル 1 名利用 朝食・税・サ込み ¥11,500 円)
- C - 1 ホテルコンコルド浜松 (シングル 1 名利用 朝食・税・サ込み ¥9,500 円)
- D - 1 くれたけインアクト浜松 (シングル 1 名利用 朝食・税・サ込み ¥6,800 円)

5. 大会までのスケジュール(予定)

- 2007 年 3 月 27 日 : 発表申込み登録締切
- 2007 年 4 月上旬 : 大会、懇親会、エクスカージョン等参加申込書発送後、参加登録開始
- 2007 年 5 月下旬 : 大会プログラム公開、発送
- 2007 年 6 月 13 日 : 大会、懇親会、エクスカージョン参加登録締切

以上

日本デザイン学会第54回春季研究発表大会

宿泊のご案内

「日本デザイン学会第54回春季研究発表大会」が浜松にて開催されますことを心からお喜び申し上げます。

ご参加の皆様方のご便宜を図るため、ご宿泊等のお手伝いをJTB 中部浜松支店にお取り扱いさせて頂きます。お早目のお申し込みをお願い申し上げます。

株式会社 JTB 中部浜松支店

支店長：伊藤淳司

営業一課長：寺澤浩一

担当者：杉本昌隆

宿泊のご案内

(1) 宿泊取扱期間：平成19年6月22日（金）～23日（土）

(その他、前泊・後泊をご希望の方はお問い合わせ下さい。)

プラン	宿泊施設名 (ホテル・旅館名)	部屋タイプ	宿泊料金 (お一人様)	備考
A	1	オークラアクトシティ ホテル浜松	シングル (1名利用)	¥12,700 JR浜松駅より徒歩3分 会場まで徒歩10分
B	1	浜松名鉄ホテル	シングル (1名利用)	¥11,500 JR浜松駅より徒歩3分 会場まで徒歩10分
C	1	ホテルコンコルド浜松	シングル (1名利用)	¥9,500 JR浜松駅よりバスで5分 会場まで徒歩10分
D	1	くれたけイン アクト浜松	シングル (1名利用)	¥6,800 JR浜松駅より徒歩5分 会場まで徒歩8分

- ・ 満室の場合は、第2希望、第3希望にて手配させて頂きます。
- ・ ご旅行(宿泊)代金は1泊朝食付きの料金で、諸税・サービス料金を含んだ1名様分の料金です。食事が不要の場合でも特別設定料金のため、ご返金はできません。
- ・ プラン毎の申込受付とさせて頂き、上記の宿泊先の中から申込受付順に手配させて頂きます。
- ・ 宿泊先ホテルにつきましては後日お送りする予約確認書にてご確認をお願い致します。

※事務手数料のご請求について

ホテルご宿泊予約の通信費、郵送料として事務手数料をお一人様あたり500円請求させて頂きます。

この情報は既に申し込み用の「別紙」とともに別便にてお手元に届いているものと同じです。申し込み用の別紙につきましてはお手元のものをご使用ください。

(2) お申し込み方法

別紙お申込書に必要事項をご記入の上、郵送又はFAXのいずれかにて5月9日(水)までにお申し込み下さい。電話での申込みはうけたまわれません。

お申込みの際には第二希望・第三希望をご記入ください。なお、申込受付順に手配致しますので、お早めにお申し込み下さい。

申込書到着後、予約確認の連絡は個人情報保護法の為行うことが出来ません。確認を希望される方は、お手数ですがお電話 (Tel053-454-6981) にてご確認下さい。

尚、申込書にご記入頂きました第1希望～第3希望まで全て満室の場合は、ただちに弊社支店よりご連絡いたします。

ご登録頂きました個人情報に関しましては(株)JTB中部が運營業務をサポートするイベント・コンベンションに係わる目的以外での利用は行いません。個人情報の管理には当社個人情報保護方針にもとづき適切な体制で臨んでおります。FAX到着後の個人情報の管理には充分注意をしておりますが、FAXを送信される際はくれぐれも誤送信等、ご注意ください。

(3) 予約確認書(宿泊先回答書)・請求書のご送付

お申込者ご連絡先に5月25日(金)までに、予約確認書と請求書・旅行条件書を郵送させていただきます。予約確認書は当日ご持参のうえ宿泊先にご提示ください。

(4) 代金のお支払い

請求書が到着次第、6月13日(水)までに請求書に記載される指定口座へお振込みください。(振込手数料はご負担願います。)

クレジットによる精算をご希望の方は、お電話 (Tel053-454-6981) にてクレジット情報をお知らせください。

(5) 変更・取り消し

変更・取消はJTB中部浜松支店まで郵送又はFAXにてご連絡下さい。なお、お申込後の取消につきましては各取消料を申し受けます。

変更・取消にて生じた差額は大会終了後、手数料を引いた額を振込みにて返金いたします。

宿泊プランの取消料は以下の通りです。

旅行契約成立後、お客様の都合で契約を解除されるときは、次の金額を取消料として申し受けます。

契約解除の日 (FAXの通信日、又は郵便局の消印日)		取消料 (お1人様)
旅行開始日の前日から起算してさかのぼって	1. 6日目にあたる日以前の解除	無料
	2. 5日目にあたる日以降の解除 (3～6を除く)	旅行代金の20%
	3. 3日目にあたる日以降の解除 (4～6を除く)	旅行代金の30%
/	4. 旅行開始日の前日の解除	旅行代金の40%
	5. 当日の解除 (6を除く)	旅行代金の50%
	6. 旅行開始後の解除又は無連絡不参加	旅行代金の100%

お弁当のご案内

大会期間中、平成19年6月23日(土)、24日(日)、昼食のお弁当手配を承ります。
(大会会場周辺は、飲食店が少ない環境です)

- I 幕の内日替弁当 お茶付：1,000円
II うなぎ弁当 お茶付：1,500円

【ご案内】

- ・ 宿泊のお申込と同時に申込書にご記入の上、お申込みください。お弁当だけのお申込みも申し受けます。なお、当日販売はおこないませんのでご了承ください。
- ・ お支払いは会場の弁当引渡しデスクにて弁当と引き換えにて承ります。
- ・ お引渡しは予約確認書毎に会場の弁当引渡しデスクにて指定時間でのお渡しとなります。空箱回収もおこないません。
- ・ お申込後の変更・取消は必ず前日の12:00までに大会実行委員会事務局へFAXまたはE-mailにてご連絡ください。

お弁当申込み後の変更・取消し連絡先

大会実行委員会事務局

FAX : 053-457-6206

E-mail : 2007JSSD@suac.ac.jp

お問合せ・お申込み

〒430-0934 静岡県浜松市千歳町70-1fun ビルディング4階
株式会社 JTB 中部浜松支店

総合旅行業務取扱管理者：寺澤浩一 / 担当：杉本昌隆・曾根奈々子

TEL：053-454-6981 FAX：053-452-0941

(営業時間：月曜～金曜 9:30～17:30 土・日・祝祭日は休業 FAXは24時間対応)

ホームページアドレス：<http://www.jtb.co.jp/shop/hamamatsu/>